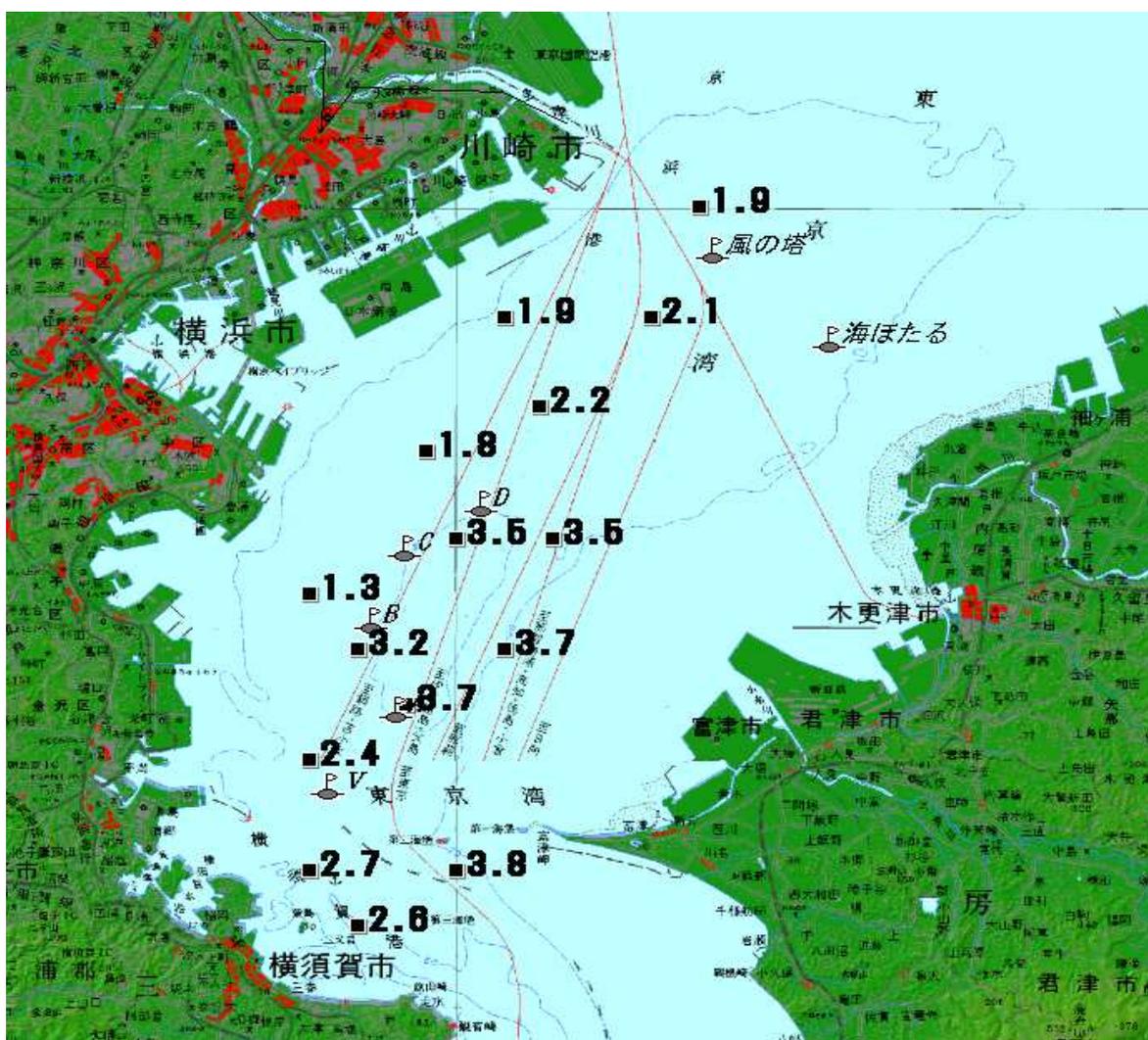


東京湾溶存酸素情報

神奈川県水産技術センター
2005/09/28

漁業調査船うしおにより東京湾調査を実施しました。

- 水色は全体に良好で、扇島沖から風の塔周辺ではやや緑色がかっていましたが、赤潮はみられません。
- 表層と底層の温度の差は、2℃程度です。水深10m付近で最も高温だったり、表層よりも底層が高温な場所もあります。
- 外洋水の浸入による高塩分水は中ノ瀬の西側の底層に分布しているようです。
- 中ノ瀬以北では、貧酸素水塊（2.5ml/l以下）が拡がり、底層の溶存酸素量が低くなっています。



底層の溶存酸素量 (ml/l)

発行 神奈川県水産技術センター

資源環境部 電話 046(882)2313

表層と底層の水温差は小さくなってきました。表層から中層にかけて混合が始まったようです。海にも秋の気配がしてきました。
貧酸素水塊はまだ残っていますので、ご注意ください。